

(令和2年(2020年)11月24日)

エゾシカ対策有識者会議

(令和2年度(2020年度)第2回生息状況評価部会)

議事録(概要版)

日時 令和2年(2020年)10月26日(月)14時00分～17時00分
場所 北海道立道民活動センター かでる2.7 1050会議室
出席者 別添「出席者名簿」のとおり
議題 北海道エゾシカ管理計画(第6期)の策定に向けた検討について
(1) 現計画(第5期)の実績評価(第1報)について
(2) 新たな管理水準の基本的な考え方等について
(3) エゾシカ資源量の検討について
(4) Bambi-simulatorによる試算について
(5) その他

議 事

(1) 現計画(第5期)の実績評価(第1報)について

ア 事務局(網倉係長)から資料1、参考資料1～8及び野生鳥獣被害調査結果(令和元年度分)に基づき、現計画(第5期)の実績及び評価(事務局案)について説明。

イ 質疑応答等(・ 無)

(宇野構成員) 第3期計画の策定時には、第2期計画の取組総括を別冊で作成した。第6期計画の策定に当たって、参考としてはいかがか。

(梶構成員) 捕獲実績と捕獲目標達成との間に乖離が生じているため、捕獲目標設定は次期計画の課題になるものと捉えている。

(稲富研究主任) 農業被害額と個体数動向との相関を評価するに当たっては、侵入防止柵の整備状況を整理してはいかがか。

(2) 新たな管理水準の基本的な考え方等について

ア 事務局(網倉係長)から資料2に基づき、新たな管理水準の基本的な考え方等について説明。

イ 質疑応答等(・ 無)

(宇野構成員) 地域区分の名称設定に係る参考文献については、後ほど共有したい。

(松田部会長) 管理水準と措置段階の設定に当たっては、過去の計画趣旨等を踏まえると整理しやすいのではないか。

(梶構成員) モデル地区を設定するのであれば、目的を明確にし、被害者側にも利益が還元されるような仕組みづくりを併せて検討していただきたい。

(稲富研究主任) 仕組みづくりについては、9月30日に開催された「第6回エゾシカ管理のあり方検討部会」の中で農業関係者から挙げた意見も踏まえて検討する必要がある。

(事務局(網倉係長)) 本日の意見を踏まえて、再検討する。

(松田部会長) 狩猟と許可捕獲に期待する役割についても少し検討してはいかがか。

(令和2年(2020年)11月24日)

(伊吾田オブザーバー) 狩猟において、オス・メスどちらを優先するかは、狩猟者によ

るので、実態把握が必要である。

(宇野構成員) 時期的な捕獲傾向を踏まえれば、狩猟、許可捕獲などのどこでメスジカを主に捕獲すべきかという議論ができる。

(稲富研究主任) モデル事業の中でメスジカ捕獲の誘導方法について検討してみてもよいかもしれない。

(3) エゾシカ資源量の検討について

ア 事務局(寒河江課長補佐)から資料3に基づき、エゾシカ資源量の検討結果について説明。

イ 質疑応答等(有・無)

(4) Bambi-simulatorによる試算について

ア 横浜国立大学 藤原オブザーバーから資料4に基づき、シミュレーション結果について説明。

イ 質疑応答等(有・無)

稲富研究主任よりパラメータの設定数値について意見あり。

(5) その他について

ア 山村構成員から追加資料に基づき、解析方法による個体数推定値の違いについて説明。

イ 質疑応答等(有・無)

(稲富研究主任) 当所でも解析に必要な基礎データが揃っているため、試行的にある一定の期間が経過したら、ライトセンサスのルートを別ルートして扱う場合の解析を試みることにする。

(宇野構成員) 幼獣比の考え方には、改善の余地があるかもしれない。

○ 事務局より今後のスケジュール等について説明し、閉会。

以上

(令和2年(2020年)11月24日)

エゾシカ対策有識者会議
(令和2年度(2020年度)第2回生息状況評価部会)
出席者名簿

日時: 令和2年10月26日(月) 14:00~

場所: かでる 2.7 1050 会議室

1 構成員

横浜国立大学大学院環境情報研究院	教 授	松田 裕之
道総研エネルギー・環境・地質研究所	自然環境部長	宇野 裕之
兵庫県森林動物研究センター	所 長	梶 光一
農研機構農業環境変動研究センター	ユニット長	山村 光司

2 オブザーバー

酪農学園大学農食環境学群	准 教 授	伊吾田宏正
横浜国立大学	学 部 生	藤原 彩※

※インターネット参加

3 関係機関

道総研エネルギー・環境・地質研究所	研 究 主 幹	釣賀一二三
	研 究 主 任	稲富 佳洋

4 関係所属

農政部生産振興局技術普及課	農業環境係長	水山 亨
環境生活部環境局循環型社会推進課	一般廃棄物係長	疋田 賢哉

5 事務局

環境生活部環境局自然環境課	エゾシカ担当課長	藤嶋 泰道
	課長補佐(エゾシカ対策)	坂村 武
	課長補佐(エゾシカ活用)	寒河江 正
	エゾシカ対策係長	網倉 隆
	主査(エゾシカ)	栗林 稔
	主 任	島本可奈子